

楽しいアミューズメント酒屋を目指して

酒の新茶屋(新茶屋酒店)



片山静江氏
柏崎市青海川872
Tel. 26-2522

爽やかな風が気持ち良い六月の下旬、青海川にある酒の新茶屋(新茶屋酒店)さんに伺い、女将さんである片山静江さんにお話を聞きしました。

店内は素晴らしい景観を眺めながら、お酒を試飲できる空間があります。二階には以前ギャラリイとして使用していた部屋もあり、ゆつくり時間を過ごす事が出来ます。ペランダから周りを見ると、日本で一番海に近い駅の青海川駅をはじめ、米山大橋や恋人岬を一望することが出来ます。片山さんは、お店に来店された県内外の方に、柏崎の観光名所の歴史に、独自のこぼれ話を添えて話しているそうです。片山さんは昭和二十四年生まれの七十二歳、市内新花町で育ちました。柏崎商業高校在学中からデザインに興味があり、レタリングの通信教育を受講されてい

ました。卒業後もデザインの仕事をしたかった為、長岡のデザイン事務所に三年間、柏崎へ戻り新聞雑誌の広告代理店に八年間、お勤めされました。結婚・出産後も暫くはお勤めを続けておられたそうですが、子育てをきっかけに独立を決意、写植機を自ら購入して、広告チラシ等の下請けの仕事を始め、とても忙しい日々を過ごしたそうです。しかし時代の変化に伴い仕事数が減少した事と家庭の事情も重なり、十五年間続けた写植業を廃業しました。元々ご主人の実家は、酒販売の免許があった事と地酒ブームだった事もあり、平成七年に自宅の玄関先を改装して、酒店を始めました。

片山さんは元々お酒をあまり嗜まなく、興味は無かったそうです。お酒を販売するうえで、東京まで勉強に通い、利き酒師の認定を取得されたそうです。今ではお酒の特徴を説明する時は、お客様がイメージしやすい様に、楽器や人物に例えて伝えていられるそうです。お酒を知らない方も、片山さんの説明を聞くと、そのお酒に親しみが湧いて、もっと知りたくなる気がしました。片山さんは会報誌【のんべえ毎日】を毎月発

行されております。お酒の豆知識や酒の肴等も掲載されており、さすがプロのチラシ作りと感心させられました。今年の九月で三〇〇号になり、ホームページに掲載しております。

片山さんは平成八年には、当時珍しかった自社ホームページを知人に薦められ、直ぐに取り組みました。最初はお店の紹介だけでしたが、メールで東京の方からの問い合わせを頂いた時、とても嬉しかったそうです。その後、平成十七年に柏崎商工会議所が開催した、売れるホームページ制作講座を娘さんと一緒に受講されました。今は娘さんと一緒にご自身でも通信販売のページ作りや運営が出来るとおっしゃられていました。

バイタリティーに溢れる片山さんにお会いできて、元気を頂いた取材でした。
(十人衆(増)・(伝)取材)

